

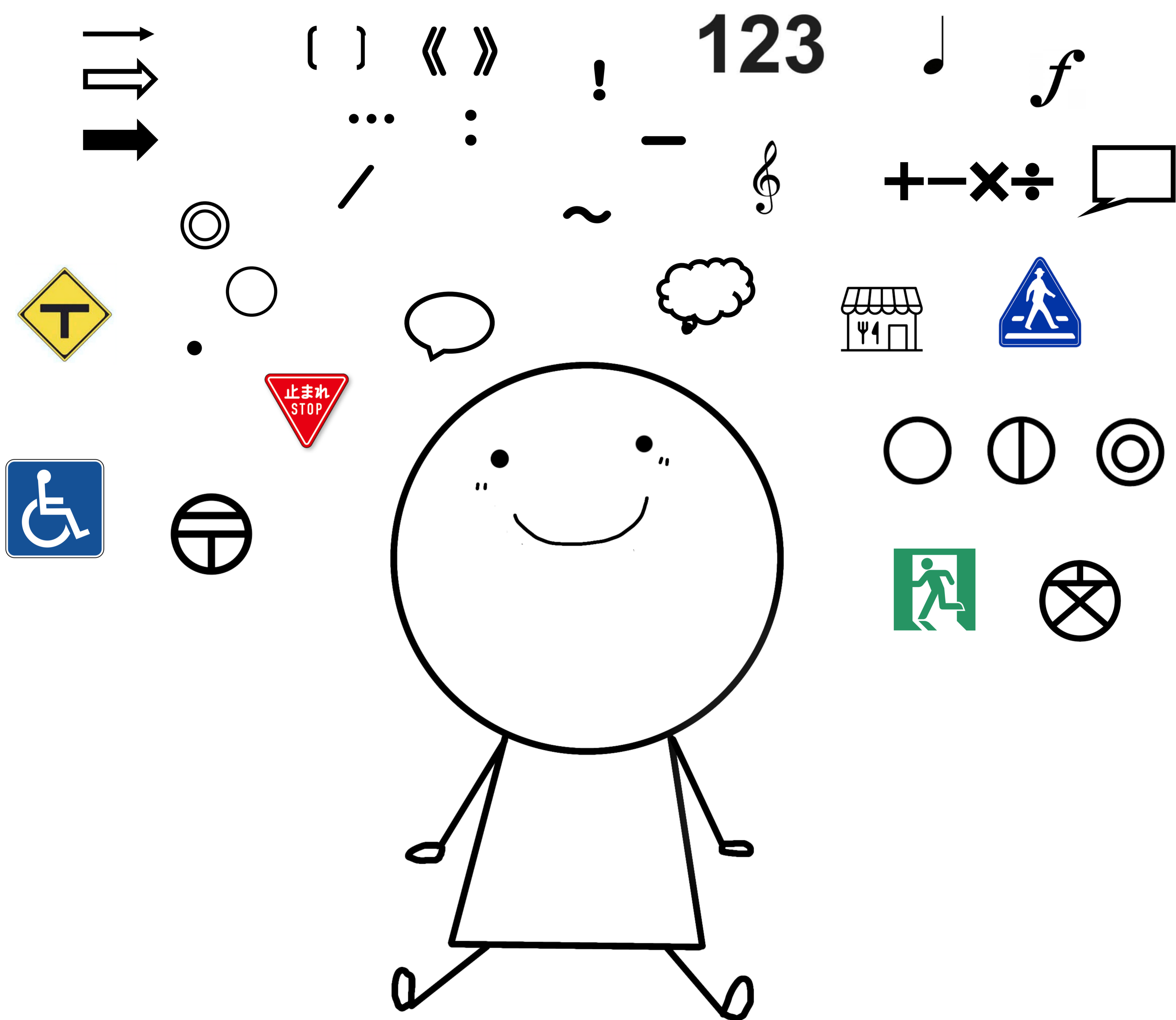
「見える化」で手に入れる “新しい記録術”



- Graphic Log -

# 2

## 記号編



「効果的な記号が記録を変える」

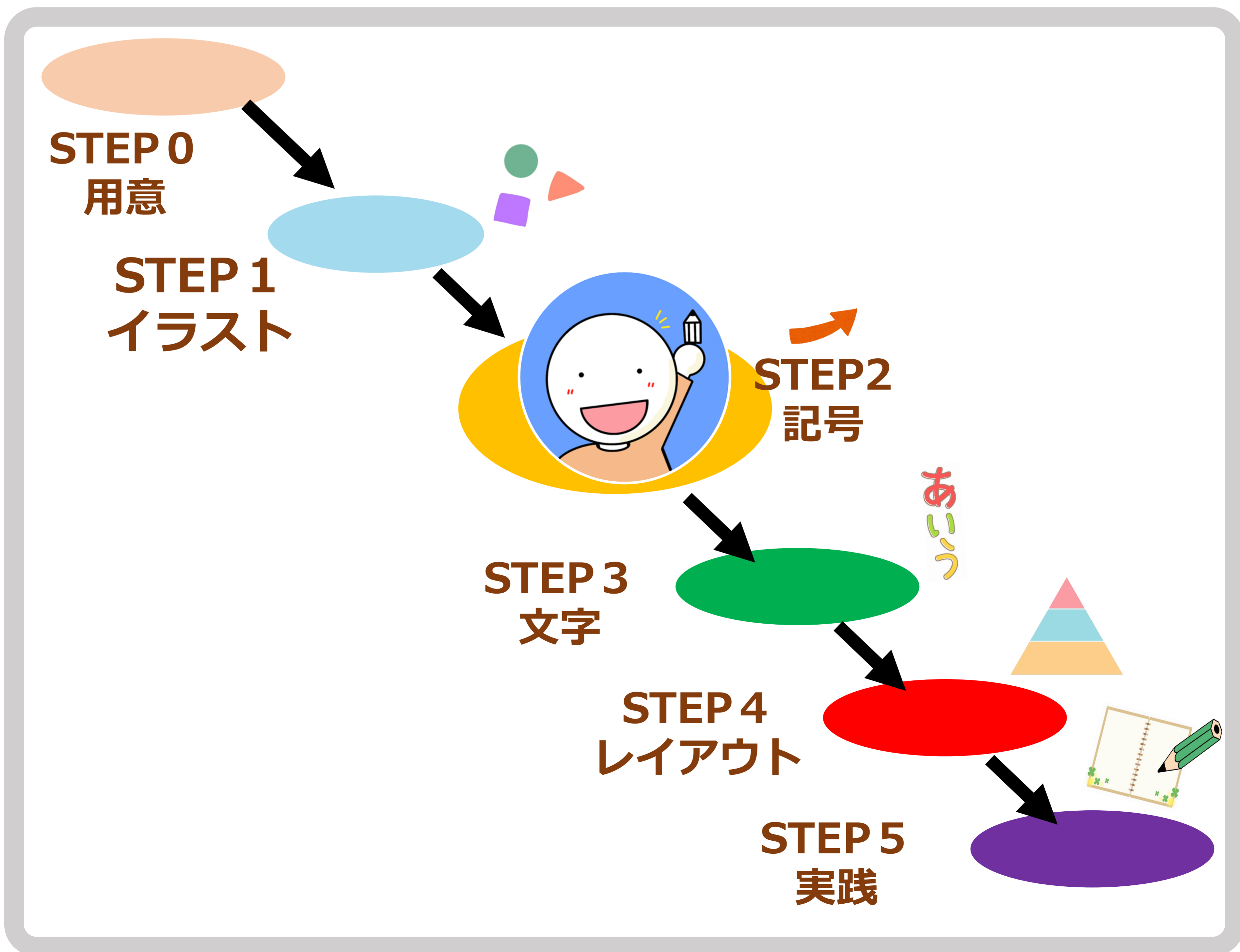
小学1年生の勉強からビジネスの場面まで  
苦手な人にこそ送る、実践型ガイドブック

元小学校教師 **タノ先生** 著



# STEP 2

## “記号”編 -効果的な記号を使おう-



# 記号の基本を知ろう



## たくさんある記号の種類



STEP 2は**記号編**です。  
「記号」と聞いて何を思い浮かべますか？

「**矢印**」や「**びっくりマーク**」ですか？



「→」「！」は代表的ですね。  
最初に記号とは何かについてお話し  
ます。

はい！

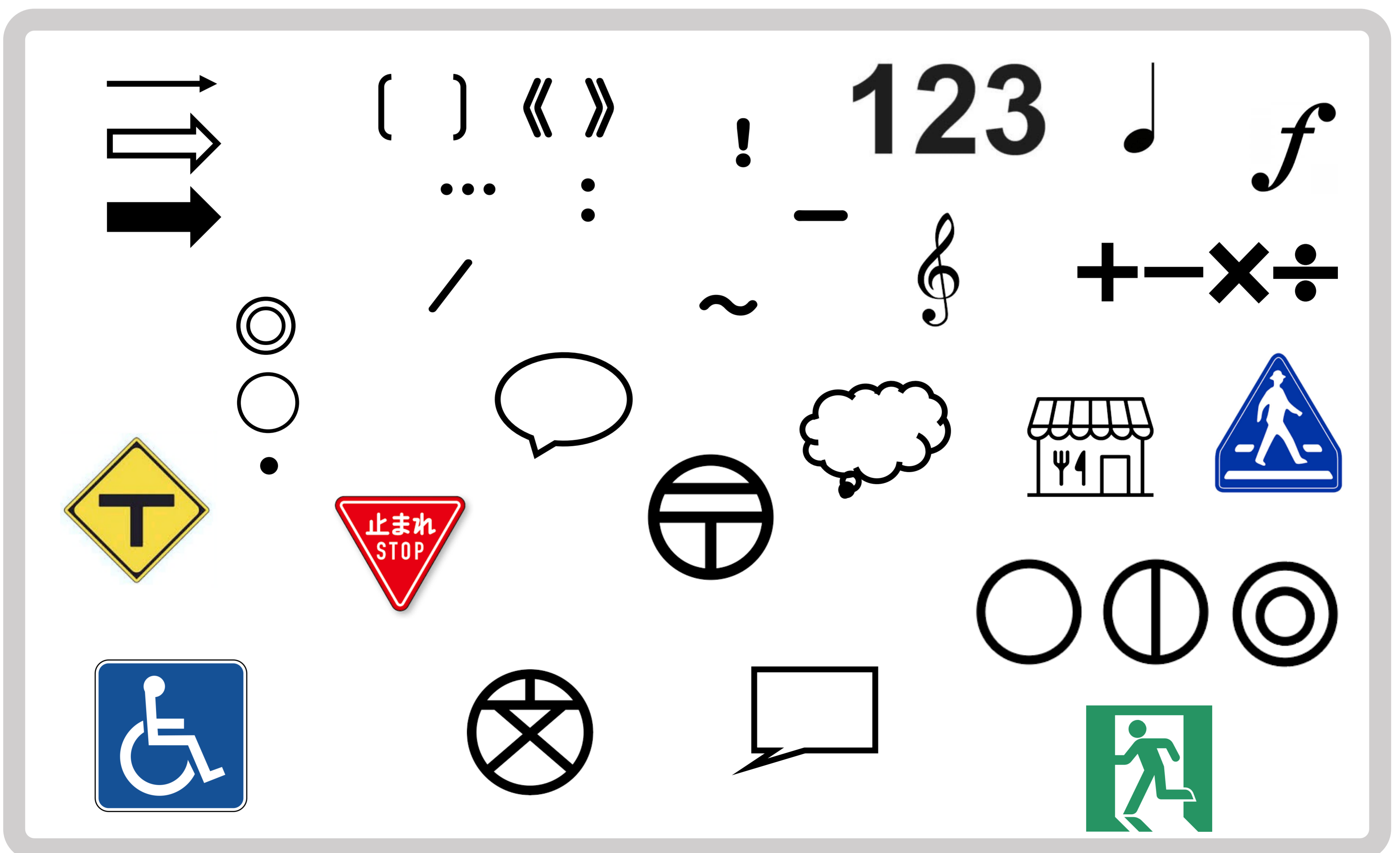


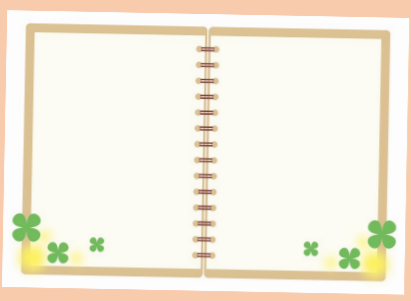
記号とは「一定の内容を表す**印（しるし）**」です。  
文字や言葉も広くは「**記号**」です。

たくさんありそうですね。



身の回りには、**たくさんの記号**がありますよ。  
イラストもそうですが、「**伝える**」ために記号は、  
たくさん生まれてきました。





# たくさんある記号の種類

約物(やくもの)	印物 (いんぶつ)	◎ ○ ●	地図記号	
	かっこ類	[ ] 《 》	道路標識	
	区切り記号	: ! /	音楽記号	
	つなぎ記号	… ~ -	数学記号	
	矢印記号		天気記号	
吹き出し		絵記号		

身の回りは記号だらけですね！！



私たちは記号に囲まれて生活しています。理由は、「早く、誰にでも伝わるから」です。言葉よりも早く、同じ言葉を理解していなくても分かります。

たしかに、小さい子でも分かるし、外国の人でも分かりますね。



だから、記号を上手く使えと、より伝わりやすくなります。矢印や吹き出しだけでもかなり違いますね。

# 記号のメリットを知ろう



## 記号で変わる記録方法

記号が便利なのが分かりました。記録では具体的にどんな風に使いますか？

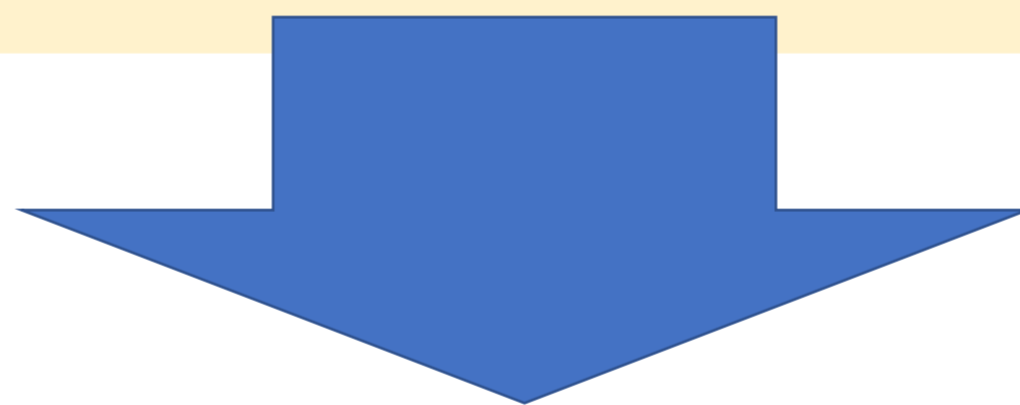


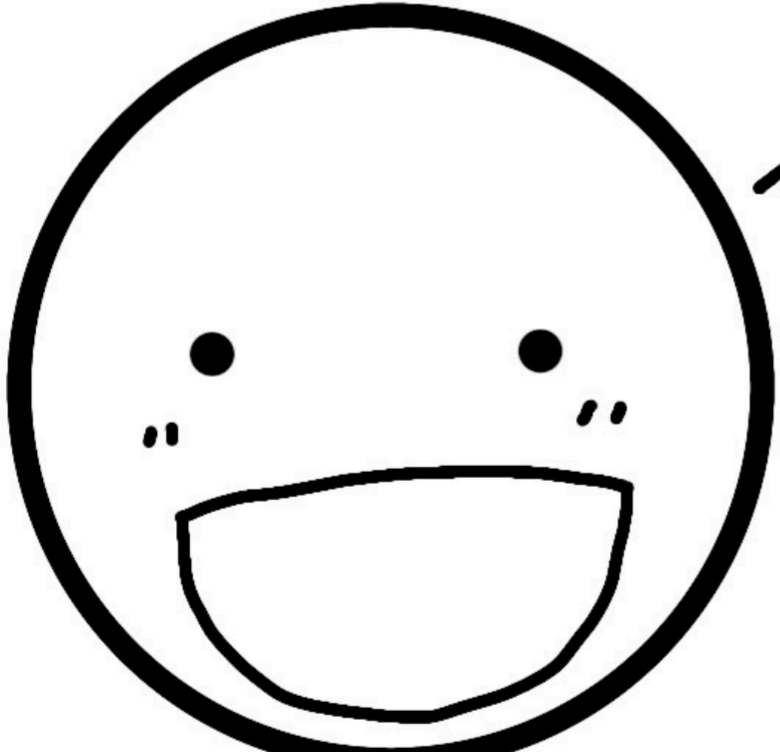
記号を使って、記録をすると

- ①速く書ける
- ②たくさん書かなくて良い
- ③伝わりやすい

というメリットがあります。実際の例を見てみましょう。

グラまるは、りんごとみかんとバナナを買いに行きました。特にバナナは大好物です。1000円を持って行きました。それぞれ、100円、50円、80円だったので、500円を出しておつりをもらいました。家に帰って家族と「おいしいね」と言いながら食べました。



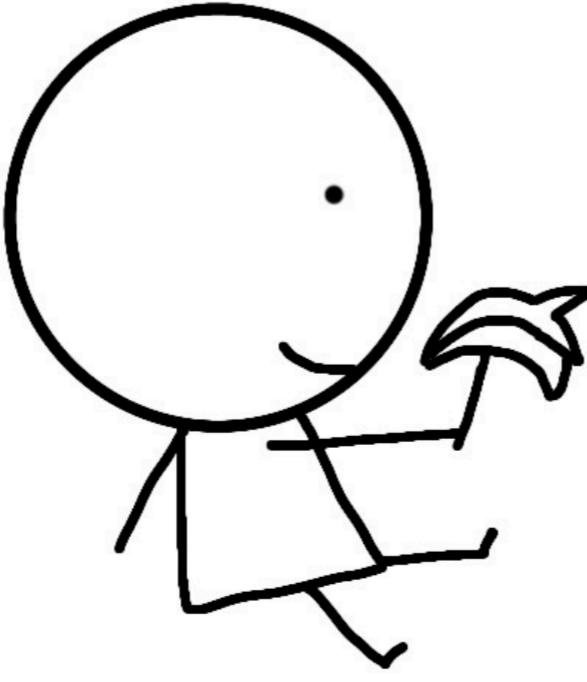
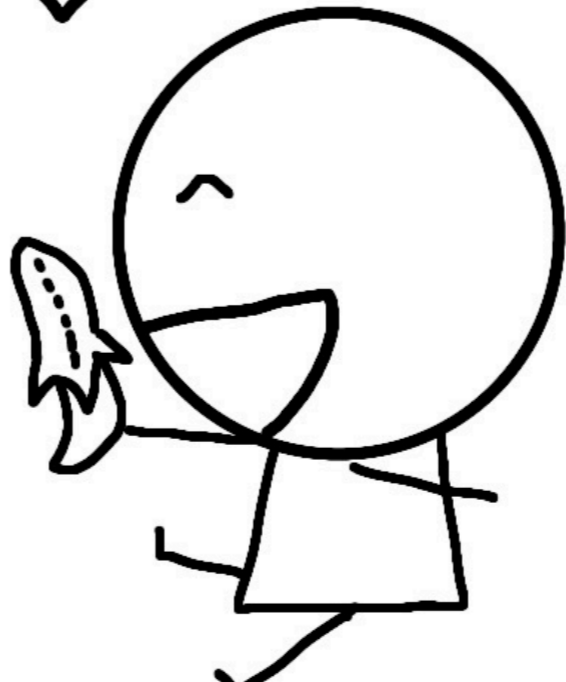

 → **買う**

- りんご : 100円
- みかん : 50円
- バナナ : 80円 (大好物)

1000円  
 (500) (500)

} 230円

$500 - 230 = 270(\text{円})$



 おいしいね!

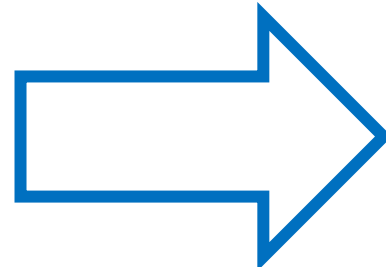
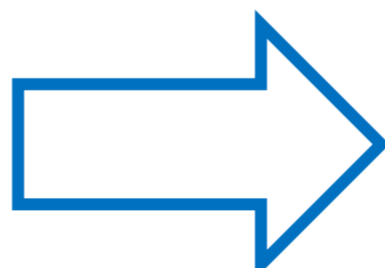
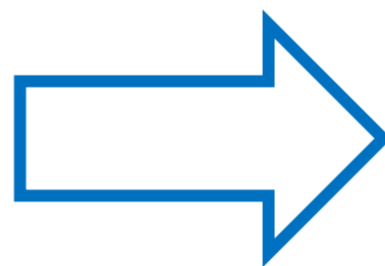

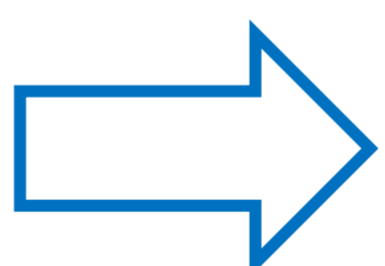
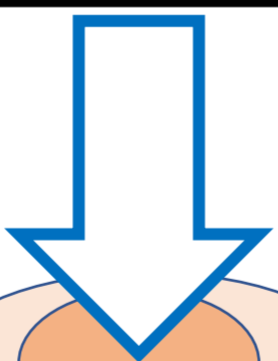
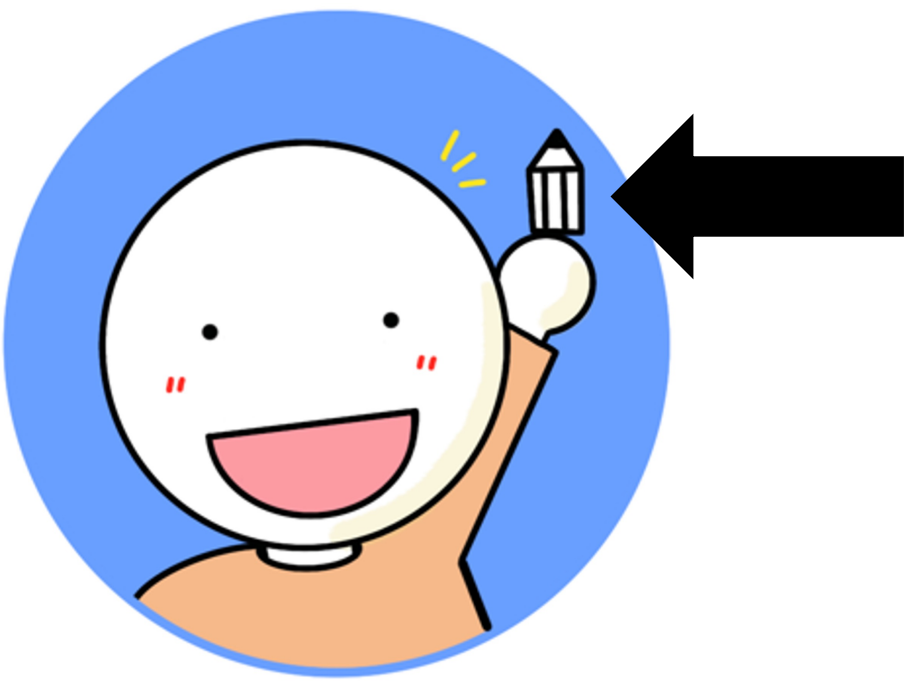
# (1) 矢印



## 矢印記号の6つの意味



矢印1つで色々な意味をもつことができます。「→」だけでもOK!まさに記号の中の「万能選手」です。たくさんの意味があるからこそ、使い分けをしてみましょう。

- |   |      |  |   |
|---|------|--|---|
| ① | 説明   | これは        | こういう意味です  |
|   |      | (例) りんご→赤い果物です   |   |
| ② | 行動   | 私が (○○が)  | これをします  |
|   |      | (例) 私→買う   |   |
| ③ | 移動   | ここから      | ここへ   |
|   |      | (例) 東京→大阪  |   |
| ④ | 変化   | これが       | これになる   |
|   |      | (例) 子ども→大人   |   |
| ⑤ | 流れ   | この後       | これをする   |
|   |      | (例) 歯みがき→寝る  |   |
| ⑥ | ポイント | これです        | <br>(例) 鉛筆はどこ?<br>(例) 書くものは? |

## 私→100円

私=100円なの?    私が100円をもらうの?    私が100円になるの?  
 私が100円を払うの?    私が100円を借りてる?



# 矢印の種類と使い分け

## 基本の矢印

一本矢印		行動/ポイント
二本矢印		流れ
点線矢印		説明
白矢印		移動
黒矢印		変化

使い分けの一例です。  
自分でルールを決めて  
使い分けてみてください。

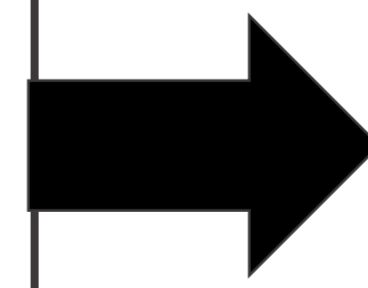
→ ← ↑ ↓ ↗ ↘ ↖ ↙ の  
8方向の向きがあります

## 応用の矢印

両矢印		反対 (説明)
曲線矢印		上がる (変化)
		下がる (変化)
かぎ矢印		ポイントの説明 (ポイント・説明)
回転矢印		繰り返し (移動・変化)

## その他

くるりん矢印		ちょっと説明
ぐにゃり矢印		迷う・時間経過
分岐矢印		分かれる
曲線白矢印		結論・影響
三角矢印		変化
Uターン矢印		戻る



## (2) カッコ ( )



## カッコ記号の種類と使い分け



区切り符号の1つ。数が多いため、よく使う8種類の括弧（カッコ）を紹介します。

	名前	記号	使い方
①	鉤括弧	「 」 『 』	セリフ・強調 「彼は『重要だ』と言った」
②	丸括弧	( )	情報の補足 (単語の説明)(曜日)(番号)
③	波括弧 (中括弧)	{ }	項目・見出し・強調
④	角括弧 (大括弧)	[ ]	項目・見出し・強調 [住所]東京都～
⑤	山括弧	< > 《 》	項目・見出し・強調 <住所>東京都～
⑥	墨括弧	【 】	記事のタイトルなど
⑦	亀甲括弧	[ ]	強調・引用
⑧	引用符 ※正確には括弧ではない	‘ ’ “ ”	引用